

Handbook for Graduate students

創薬科学専攻(博士後期課程)

学生の手引
2022

目 次

専攻の概要	1
授業科目開講一覧	2
修了要件について	3
研究指導等について	5
研究指導に関する目安	6
【様式1】研究計画書	7
【様式2】履修及び研究計画書	8
履修登録について	9
その他	10
研究グループ連絡先	13
キャンパスマップ	14

大学院医薬保健学総合研究科 創薬科学専攻（博士後期課程）

定員 11 名

● 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー；AP）

本課程では、薬学を中核に据えた学問分野（薬学・医学・保健学関連）に関する最先端の知識や技能と高い研究能力の醸成を目的とします。創薬科学における先進的且つ発展的な教育・研究を通して、豊かな創造力、高い見識、卓越した研究企画能力、強いリーダーシップ、さらに国際的視野で活躍できる能力を備えた、自立した真の研究者を養成します。具体的には、製薬企業等において新薬開発に関する研究や企画立案に携わる者、大学教員、公的機関での研究者、医療・厚生・薬事・環境等の分野での行政担当者などとして活躍する人材を育成します。将来このような職種での活躍を目指す学生であれば、経験した学問分野を問わずに受け入れます。

入学者選抜の基本方針としては、一定レベル以上の学力（専攻学術および英語）を有し、これまでに行った研究課題に対する理解と熱意、さらに将来、上記の分野で活躍することに強い意欲をもっていることを重視します。選抜は、基礎学力、英語能力、論理的思考力、研究課題の理解力等を総合して判定します。

● 教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー；CP）

本課程では、薬学を中核に据えた学問分野における最先端の知識と高い研究能力を兼ね備えた人材を育成するため、先鋭的なカリキュラム構成を採用しています。課程を構成する教員のすべてが、自分が専門とする領域の「創薬科学専門科目」を開講し、学生はそこから興味のあるものを選択して履修します。これらの講義科目はいずれも最先端の知識を教授するものであり、学生はそれを習得して知識を深め、自分の研究課題の遂行に役立てます。加えて、主任指導教員が担当する「薬科学特別演習」では、文献読解とその説明・伝達能力及び自分の研究成果を発表する能力が養成されます。これらの科目群の履修により習得した知識と技術を使い、学生は全修学期間を通して、主任指導教員の指導のもとに希望する専門分野における「薬科学特別研究」に取り組みます。この科目においては、研究能力だけでなく、論文執筆能力及び発表・討論能力ならびに国際的視野で活躍するための英語能力の養成も行われます。

● 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー；DP）

本課程では、薬学を中核に据えた学問分野における最先端の知識と技術ならびに高い研究能力を修得し、国際的視野で活躍できる学生を修了させることを目的としています。それを達成するため、講義科目群の履修においては課題レポートなどにより各分野の最先端知識の修得度が判定されます。また、研究能力、論文執筆能力、及び発表・討論能力の修得度を判定するため、研究成果を記述した学位論文の作成と公開での口頭発表・討論を義務付け、その内容が審査されます。なお、研究成果が審査付きの学術誌に公表されることが求められています。全てに合格した学生に、博士(創薬科学)または博士(学術)が授与されます。

● 想定される就職先

- ・ 製薬関連企業（開発研究者、学術研究員）
- ・ 国公立または私立の大学（教員）
- ・ 公的な研究機関（研究員）
- ・ 行政機関（行政担当者）

医薬保健学総合研究科 授業科目開講一覧(令和4年度4月期入学者用)

創薬科学専攻(博士後期課程)

R4.4.1

授業科目の名称	担当教員	時間割番号	単位数	偶数年度		奇数年度		備考
				前期	後期	前期	後期	
次世代研究者倫理	大学院教務委員	01201	1	Q1				
次世代エッセンシャル実践	大学院教務委員	01202	1	※				
次世代イノベーション開拓	松島大輔	01203	1	Q2				
国際研究実践	主任指導教員	01204	1	※				
がん分子生物学	松永司	01003	2			○		
生体機能を志向した有機化学	国嶋崇隆	01007	2				○	
分子薬理学特論	金田勝幸	01008	2		○			
ワクチン開発の重要性	吉田栄人	01009	2	○				
薬用資源応用学	後藤(中川)享子	01014	2	○				
環境有機合成化学	内山正彦	01016	2		○			
新有機合成反応特論	松尾淳一	01017	2		○			
薬用植物資源学	佐々木陽平	01018	2			○		
画像診断学:薬学の見地から	小川数馬	01019	2			○		
薬物代謝解析学	深見達基	01023	2			○		
機能性分子の立体制御合成	吉村智之	01029	2			○		
化学物質の環境動態学	唐寧	01031	2		○			
DNA損傷応答学	若杉光生	01033	2				○	
アレルギー学特論	鈴木亮	01035	2	○				
創薬・創剤のための薬物吸収動態学	白坂善之	01037	2				○	
精神薬理学	出山諭司	01039	2				○	
生命科学分野における有機光化学	三代憲司	01040	2		○			
創薬のための計算化学	福吉修一	01041	2			○		
分子イメージングに関わる創薬科学	淵上剛志	01042	2	○				
創薬モダリティ特論	古川敦	01043	2				○	
薬科学特別演習	主任指導教員	—	2					
薬科学特別研究	主任指導教員	—	2					

は必修科目です。 ※の開講時期は別途お知らせします。

は必修科目です。通年科目なので、入学時にのみ履修登録をお願いします。

所属の研究室により時間割番号が違うので、別途アカンサスポータルにて時間割番号を確認してください。

講義内容・担当教員の連絡先は、金沢大学SYLLABUS

(<https://eduweb.sta.kanazawa-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>) を参照してください。

詳細な開講時間帯は、担当教員に確認してください。

上記内容は、担当教員の異動等により予告なく変更することがあります。

修了要件について

修了要件

以下に示す要件を全て満たしていることが修了に必要なとなる。

(1) 3年以上在学すること。優れた研究業績を上げた者については、修士課程または博士前期課程の在学期間を含めて3年以上の在学期間で足りる場合がある。

(2) 計10単位以上修得すること。

(3) 必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

(4) 本学では英語能力強化の一環として、博士後期課程創薬科学専攻に入学した学生は、原則全員が英語の外部検定試験を受験し、TOEIC 575点以上、TOEFL-iBT 58点以上、TOEFL-PBT 493点以上、IELTS 4.5以上のいずれかの基準を満たして修了の6ヶ月前までに報告すること。なお、博士前期課程でこの基準を満たしている場合には、その点数を報告できる。

なお、博士後期課程学生は、在学中に1回のみ英語能力試験の受験料の一部補助を受けることができます(3,000円程度。1回の受験料が1万円を超える場合は5,000円を補助の予定)。

受験の時期	大学院在学中(博士前期課程での試験スコアが基準を満たしている場合は、そのスコアを報告することができる)
報告の方法	試験のスコアを修了の6ヶ月前までに薬学学務係へ提出。
対象とする試験	TOEIC(公開テスト、TOEIC-IP)、TOEFL-iBT、TOEFL-PBT、IELTS
受験免除の対象	<p>1. TOEIC 760点、TOEFL-iBT 80点、TOEFL-ITP 550点、IELTS 6.0、以上のスコアを持つ者(ただし、大学入学以降に受験した試験に限る)</p> <p>2. 社会人(14条特例の申請の有無にかかわらず、入学月に就労している者)</p> <p>3. 英語母語話者 一般に英語を公用語とする国に生まれ育ち、英語を第一言語として獲得した者。英語を公用語とする国一覧(以下)</p> <p>アイルランド、アメリカ、アンティグア・バーブーダ、イギリス、イスラエル、インド、ウガンダ、エリトリア、オーストラリア、ガイアナ、ガーナ、カナダ、カメルーン、ガンビア、キリバス、クック諸島、グレナダ、ケニア、サモア、ザンビア、シエラレオネ、ジャマイカ、シンガポール、ジンバブエ、スーダン、スワジランド、セーシェル、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント・グレナディーンセントルシア、ソマリランド、ソロモン諸島、タンザニア、ツバル、ドミニカ国、トリニダード・トバゴ、トンガ、ナイジェリア、ナウル、ナミビア、ニウエ、ニューージーランド、パキスタン、バヌアツ、バハマ、パプアニューギニア、パラオ、バルバドス、フィジー、フィリピン、ベリーズ、ボツワナ、マーシャル諸島、マラウイ、マルタ、ミクロネシア連邦、南アフリカ、南スーダン、モーリシャス、リベリア、ルワンダ、レソト</p>

履修方法

大学院GS発展科目	次世代研究者倫理（1単位） 次世代エッセンシャル実践（1単位） 次世代イノベーション開拓（1単位） 国際研究実践（1単位）	4単位
①創薬科学専攻必修科目	薬科学特別演習（2単位） 薬科学特別研究（2単位）	4単位
②創薬科学専攻選択科目	1科目以上	2単位以上
合計		10単位以上

専門領域ごとに推奨される選択科目の一覧

専門領域	推奨科目	単位数
生物系領域 (生化学, 分子生物学, 細胞生物学, 免疫学, など)	ワクチン開発の重要性 (吉田) がん分子生物学 (松永) DNA 損傷応答学 (若杉) アレルギー学特論 (鈴木) 創薬モデリティ特論 (古川)	2単位 2単位 2単位 2単位 2単位
薬剤系領域 (薬理学, 薬物動態学, 薬物代謝学, など)	分子薬理学特論 (金田) 薬物代謝解析学 (深見) 創薬・創剤のための薬物吸収動態学 (白坂) 精神薬理学 (出山)	2単位 2単位 2単位 2単位
環境・分析系領域 (分析科学, 環境生物学, など)	画像診断学: 薬学の見地から (小川) 化学物質の環境動態学 (唐) 分子イメージングに関わる創薬科学 (淵上)	2単位 2単位 2単位
化学系領域 (有機化学, 有機合成学, 生物有機 化学, 物理化学, など)	新有機合成反応特論 (松尾) 環境有機合成化学 (内山) 生体機能を志向した有機化学 (国嶋) 機能性分子の立体制御合成 (吉村) 生命科学分野における有機光化学 (三代) 創薬のための計算化学 (福吉)	2単位 2単位 2単位 2単位 2単位 2単位
天然物・生薬学領域 (天然物化学, 生薬学, 漢方薬学, など)	薬用植物資源学 (佐々木) 薬用資源応用学 (後藤 (中川))	2単位 2単位

研究指導等について

1. 研究指導体制について

研究指導の充実を図るために複数教員による指導体制をとります。

1) 研究指導グループ

- ① 学生ごとに、主任指導教員1名及び指導教員2名からなる研究指導グループが構成されます。
- ② 研究指導グループの編成は、当該専攻に係る会議で決定します。
- ③ 主任指導教員は、履修計画の作成、研究計画の立案、研究の遂行、研究中間報告の作成、学位論文の作成、学位請求などの指導における責任を担います。
- ④ 指導教員は、主任指導教員を補佐します。

2. 研究指導及び学位請求の手続き

所定の年限で修了するための研究指導及び学位請求のスケジュールは以下の通りです。

- ① 入学後速やかに研究指導グループの助言を受け、「【様式1】研究計画書」及び「【様式2】履修及び研究計画書」を作成して主任指導教員へ提出します。

なお【様式1】は在学中の研究計画の全容について記載するもので、【様式2】は年度ごとの履修及び研究の計画を記載するものです。

これら様式は、下記薬学系 web サイトより入手できます。

(https://www.p.kanazawa-u.ac.jp/user/doctors_students_souyaku.html#gsc.tab=0)

- ② 【様式2】に従い、指定された期日までに当該年度の履修登録をアカンサスポータルから行います。履修登録の期日については、各学期当初にアカンサスポータルでお知らせします。(9ページ参照)
- ③ 研究計画に従って研究を遂行します。研究計画に大きな変更があった場合には、研究指導グループに報告し、協議の上、【様式1】及び【様式2】を修正します。
- ④ 研究指導グループの助言を受けて学位論文としてまとめます。作成した学位論文は研究指導グループで査読及び修正等の予備審査に付されます。
- ⑤ 学位請求手続きを、学位論文審査要項に従って行います。
- ⑥ 学位論文の審査及び口述による最終試験を受けます。
- ⑦ 単位修得状況及び最終試験の結果に基づき当該専攻に係る会議で最終審査が行われます。合格した場合は、博士後期課程を修了するとともに、博士(創薬科学)または博士(学術)の学位が授与されます。

研究指導に関する目安

平成24年1月4日
博士後期課程創薬科学専攻及び博士課程薬学専攻設置準備会議承認
平成24年7月4日薬学系領域委員会承認，平成24年4月1日から適用

当専攻における学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）について，その目安は次のとおりとする。

1. 主任指導教員は，学生の最終年度までの研究指導の計画を，学生から提示された研究計画書（様式1）を基に当該学生と協議の上決定し，入学後速やかに当該学生に示すものとする。
2. 主任指導教員は，学生から研究の進捗状況に関する報告を適宜受け，当該学生と協議の上，必要に応じて1. で作成した研究指導の計画を見直し，これを修正するものとする。
3. 各年度当初には，学生が研究計画書（様式1）に沿って履修及び研究計画書（様式2）を作成し，主任指導教員にこれを提出するものとする。
4. 主任指導教員は，学生にかかる研究計画（様式1及び様式2）を当該学生が修了後も，5年間は保存するものとする。

以上

20 年度入学

研究計画書

博士前期課程・博士後期課程・博士課程(いずれかに○)

医薬保健学総合研究科	専攻	学籍 番号	
------------	----	----------	--

氏名	⑩	主任指導 教員氏名	⑩
----	---	--------------	---

研究テーマ	
-------	--

研究目的	
研究内容	
研究スケジュール	1年次 2年次 3年次 4年次
	_____年 月 日記載

20 年度 履修及び研究計画書

博士前期課程・博士後期課程・博士課程(いずれかに○)

医薬保健学総合研究科	専攻	学籍 番号	
------------	----	----------	--

氏名	Ⓜ	主任指導 教員氏名	Ⓜ
----	---	--------------	---

研究テーマ	
-------	--

履修科目	研究内容					
	科目名	単位	担当教員名	科目名	単位	担当教員名

備考

- 1 履修登録は、アカンサスポータルから行ってください。
- 2 必ず Web から履修登録状況を確認してください。

_____年 月 日記載

履修登録について

その学期に開講される科目で単位認定を希望する科目は、すべて履修登録が必要です。

① 履修希望科目を決定

2ページ「授業科目開講一覧」及び4ページの履修方法を参考に、主任指導教員と相談の上、8ページ「【様式2】履修及び研究計画書」を作成してください。

② 履修希望科目の登録

①で作成した「【様式2】履修及び研究計画書」に従い、アカンサスポータル (<https://acanthus.cis.kanazawa-u.ac.jp/Portal/>) を利用して、毎学期、履修を希望する科目を登録してください。

同サイトへアクセスするためのID・パスワードは、この手引きと併せて渡しますので、入手したら必ずアクセスしてみてください。

登録可能期間は、アカンサスポータルで確認して、必ず期間内に登録を完了させてください。

アカンサスポータルからの登録方法の詳細は、「学生便覧」29ページを参照してください。

※ 登録漏れのないよう注意してください。

※ 学外、学内を問わず、インターネットに接続できる環境であれば、どのパソコンからでもアカンサスポータルにアクセスできます。

③ 登録内容の確認

※ 履修科目の登録後、Web上で履修登録状況を確認できます。履修登録状況には、単位認定を希望するすべての科目が記載されていなくてはなりません。載っていない科目については、履修しても単位認定されませんので、履修登録期間中に必ず確認してください。

(参考) 令和4年度の履修手続きについて

【Q1 および前期】

- ・ 4月5日(火) 7:00~17日(日) 23:59 授業科目の履修登録期間
- ・ 4月19日(火) ~ Web上で履修登録状況確認可能

【Q2以降】

- ・ 別途通知

※履修期間中は、24時間Webで履修登録が可能です。

※申請期間は年度により異なります。必ずクォーター毎にポータルメッセージにて確認してください。

その他

1. 学生証

学生証は、4月4日(月)から薬学学務係窓口(自然科学本館G2階事務室, 中央の窓口)でお渡しします。窓口時間は平日の8:30~17:00です。

その後の諸手続きで学籍番号が必要になりますので、速やかに取りに来てください。

なお、社会人の方で、やむを得ず取りに来られない場合は、主任指導教員に預けることも可能です。ただし、その場合は、必ずご自身で主任指導教員に相談してください。

なお、大学で実施される定期健康診断を受診するためにも、学生証が必要です。

【定期健康診断】 当専攻の2022年度4月入学者については、次のとおり実施されます。

4月27日(火) 15:10~16:30(男女の区分なし)

場所: 角間キャンパス 保健管理センター(本部棟)

2. アカンサスポータル

本学ではICT教育の効果的な実践のため、ポータルサイト「アカンサスポータル」を運用しています。

同サイトを通じて、履修や成績に関すること、修了や学位論文に関することなど重要な情報をお知らせしますので、こまめにログインして確認するようにしてください。

機能、使用方法等については、「学生便覧」23ページを参照してください。

3. 学年・学期

当専攻の1年は、4月1日に始まり翌年の3月31日に終わります。

この期間を2学期4クォーターに分け、前期(第1クォーター, 第2クォーター(4月1日~9月30日)), 後期(第3クォーター, 第4クォーター(10月1日~3月31日))としています。

当該学期の講義開始日・行事日程等については年度初めに「学年暦」を送付しますので、こちらで確認してください。

4. 住所等の変更

本人や父母等の住所・電話番号に変更があった場合は、速やかにアカンサスポータルで変更手続きを行ってください。また姓名に変更があった場合は、所定の手続きが必要になりますので薬学学務係まで申し出てください。

有職者で「大学院設置基準第14条に基づく特例」(後述9.)の適用を受けている学生については勤務先に変更があった際も同係まで申し出てください。

5. 角間キャンパスにおける駐車

本キャンパスは駐車スペースが狭いため、特段の事情があると認められる方を除き、駐車許可を制限しております。

やむを得ない理由により自動車通学を希望する場合は、薬学学務係に駐車許可を申請してください。申請期間の詳細については、4月上旬にアカンサスポータルからお知らせします。

6. 休学・復学・退学

いずれの場合も必ず、主任指導教員に十分相談の上、申請してください。

所定の用紙は、薬学学務係にあります。

(1) 休学

提出書類：「休学届」（所定の用紙）

提出期限：原則、希望月の前月15日まで

- ・ 病気またはその他の事由により、1ヶ月以上修学を中止しようとする場合は、学期末またはクォーター末までの申請が可能です。なお病気による場合は医師の診断書が必要です。
- ・ 各学期または各クォーター途中からの休学を願い出た場合は、休学はできますが、授業料は納めなければなりません。

(2) 復学

提出書類：「復学届」（所定の用紙）

提出期限：原則、希望月の前月15日まで

- ・ 休学期間中に復学を希望される場合は、復学の手続きが必要です。

(3) 退学

提出書類：「退学届」（所定の用紙）

提出期限：原則、希望月の前月15日まで

- ・ 当該学期またはクォーターの授業料を納めていない場合は退学できません。

7. 各種証明書

在学証明書・成績証明書・JR学割証等の各種証明書は、薬学学務係窓口の対面に設置されている「証明書自動発行機」で即時発行可能です。画面に従って学生証を発行機にかざし、アカンサスポータルのパスワードを入力してください。

また、証明書自動発行機の設置場所や稼働時間、即時発行可能な証明書の種別については、金沢大学ウェブサイト>在学生>卒業・成績証明書申請方法にある「在学者の証明書の申請について」を参照してください。

なお、「証明書自動発行機」で発行可能な証明書は、学生本人が発行機にて学生証を使用して発行することを原則としておりますが、社会人の方でやむを得ない場合のみ、郵送による申請に限り受け付けます。下記3点を同封の上、薬学学務係までお送りください。

1. 返送用封筒（返送先の住所宛名を明記し、切手を貼付した長型3号のもの）
2. 本人確認可能な証明書等のコピー（例：運転免許証、健康保険被保険者証等）
3. 下記7項目を書いた用紙（任意様式）

- (1) 氏名（フリガナ）
- (2) 生年月日
- (3) 学籍番号及び所属専攻
- (4) 返送先住所
- (5) 申請者電話番号（日中連絡のつくもの）
- (6) 請求する証明書の種類と部数
- (7) 使用目的と提出先

(注意)

本学では電話やメールによる証明書申請は受け付けておりません。

郵送の場合、発送までに3日程かかりますので、必ず余裕を持って申請してください。

申請先：〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学薬学学務係

8. 長期履修制度

当専攻では、職業を有している等の事情により標準の修業年限（3年）で修了することが困難な方を対象として、修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することにより学位を取得することができる「長期履修制度」を導入しています。

本制度の利用を希望される場合は、主任指導教員または薬学学務係へご相談ください。

(1) 対象

- ・有職者（臨時雇用を含む）
- ・家事，育児，介護等に従事している者

(2) 申請期限

1年次または2年次の2月末日まで

9. 大学院設置基準 14条に基づく教育方法の特例制度

当専攻では、社会人学生に対して、大学院での学修を容易とするために「大学院設置基準 14条に基づく教育方法の特例制度」を実施しています。

適用を希望する場合は、薬学学務係まで申し出てください。

参考：大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）[抄]

第 14 条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

10. 校舎

校舎は平日の20時～翌朝7時30分までの間、及び土日・祝日は玄関をロックして部外者の入館を制限しています。

時間外に校舎に入構する場合は、学生証が入館カードキーとなりますので、読み取り機にかざして入構してください。

11. 薬学同窓会

本会は金沢大学薬学部およびその前身校の時代から続く伝統ある同窓会であり、現在在学中の学類、大学院生及び教員を合わせて6,000名近くの会員がおられます。

本会の趣旨は、同じ学問を志す仲間として、会員相互の親睦を深め、情報交換、大学の現況並びに会員の消息の連絡を通じて、生涯に亘り学問の向上を目指すことにあります。

本会の活動として、在学生への教育支援事業（学生課外活動支援やなど）のほか、会誌及び名簿の発行、学術情報のお知らせ、卒業後の全国各地における支部会の開催等を行っております。

新たに入学される学生の皆様には、この趣旨を何卒御理解いただき、全員の入会をお願いしておりますので、よろしく申し上げます。

問合せ先：〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学 薬学同窓会事務局（TEL 076-260-6366）

研究グループ連絡先

* @以下は, p.kanazawa-u.ac.jp です。(一部, @staff.kanazawa-u.ac.jp です。)

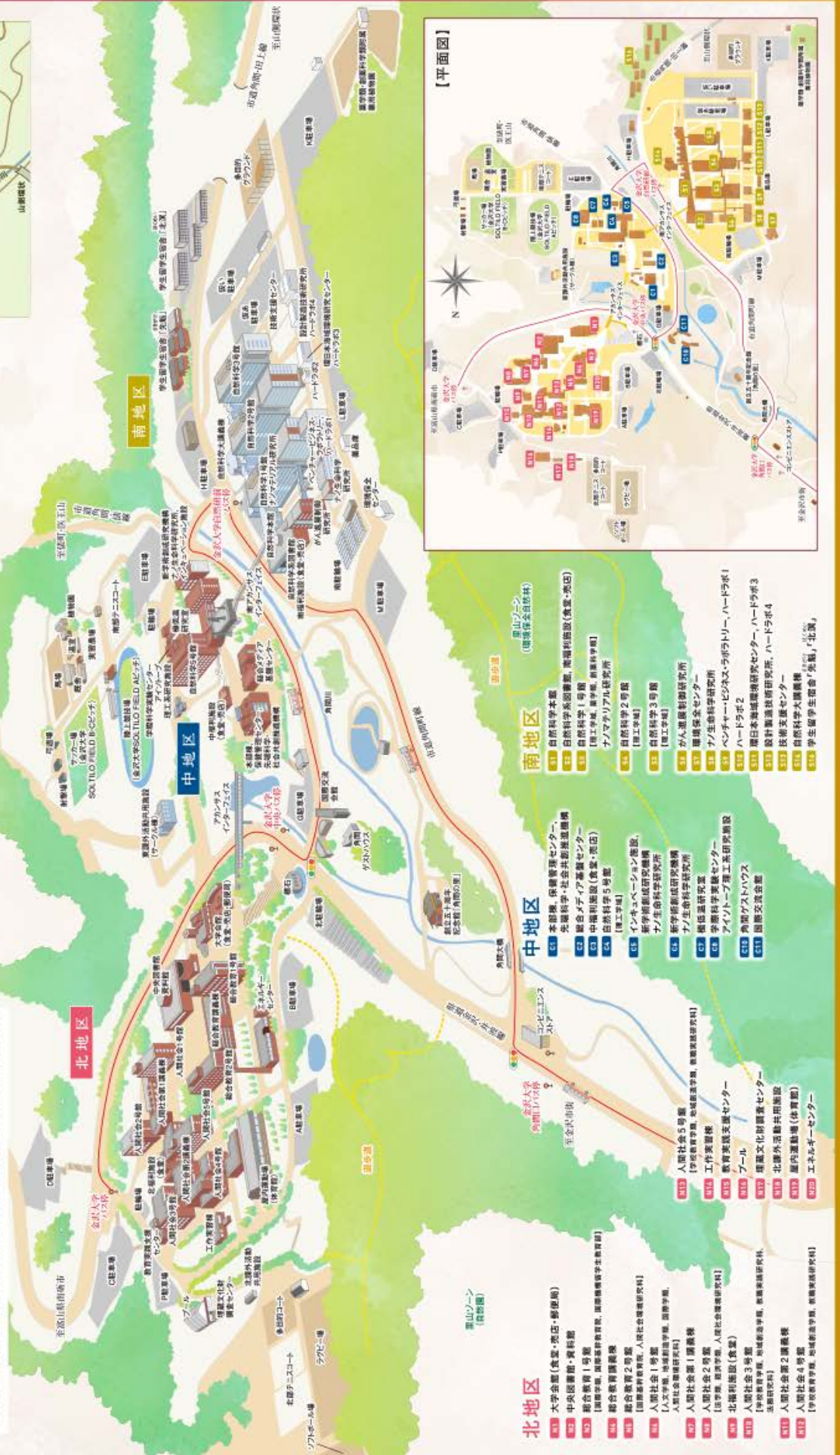
研究室	連絡先	教授	准教授	講師	助教
遺伝情報制御学	matsukas@ ☎ 076-234-4487	松永 司	若杉 光生		赤堀 稜
生物有機化学	kunisima@ ☎ 076-264-6201	国嶋 崇隆	三代 憲司		藤田 光 松本 拓也
ワクチン・免疫科学	shigeto@ ☎ 076-234-4463	吉田 栄人			田村 隆彦
機能性分子合成学	jimatsuo@ ☎ 076-234-4474	松尾 淳一	吉村 智之		
薬理学	k-kaneda@ ☎ 076-234-4468	金田 勝幸	出山 諭司		西谷 直也
精密分子構築学	ykato@ ☎ 076-234-4465	加藤 将夫 (兼任)			長尾 一哲 隅田 有人
衛生化学	suzukir@ ☎ 076-234-4413	鈴木 亮	古川 敦		長田 夕佳
臨床分析科学	kogawa@ ☎ 076-234-4460	小川 数馬	淵上 剛志		宗兼 将之
分子生薬学	(佐々木教授) sasaki@ ☎ 076-234-4441	佐々木 陽平			安藤 広和
	(後藤准教授) kngoto@ ☎ 076-264-6305		後藤(中川)享子		斎藤 洋平
活性相関物理化学	fukuyosi@ ☎ 076-234-4483			福吉 修一	
内山研究グループ	uchiyama@ ☎ 076-234-4428		内山 正彦		
環日連携研究グループ	n_tang@staff. ☎ 076-234-4455	唐 寧			
薬物動態学	tamai@ ☎ 076-234-4479	玉井 郁巳	白坂 善之		
分子薬物治療学	ykato@ ☎ 076-234-4465	加藤 将夫	増尾 友佑		石本 尚大
薬物代謝安全性学	nmiki@ ☎ 076-234-4408	中島 美紀	深見 達基		中野 正隆
臨床薬学	tsuboih@ ☎ 076-234-4403		荒川 大		吉田 直子
生体防御応答学	tkuraishi@staff. ☎ 076-234-4481		倉石 貴透		堀 亜紀



金沢大学 角間

キャンパスマップ

KANAZAWA UNIVERSITY KAKUNA CAMPUS MAP



北地区

- 001 大学会館(食堂・売店・郵便局)
- 002 中央図書館・資料館
- 003 総合体育1号館
- 004 総合体育2号館
- 005 総合体育3号館
- 006 総合体育4号館
- 007 総合体育5号館
- 008 総合体育6号館
- 009 総合体育7号館
- 010 総合体育8号館
- 011 総合体育9号館
- 012 総合体育10号館
- 013 総合体育11号館
- 014 総合体育12号館
- 015 総合体育13号館
- 016 総合体育14号館
- 017 総合体育15号館
- 018 総合体育16号館
- 019 総合体育17号館
- 020 総合体育18号館
- 021 総合体育19号館
- 022 総合体育20号館
- 023 総合体育21号館
- 024 総合体育22号館
- 025 総合体育23号館
- 026 総合体育24号館
- 027 総合体育25号館
- 028 総合体育26号館
- 029 総合体育27号館
- 030 総合体育28号館
- 031 総合体育29号館
- 032 総合体育30号館
- 033 総合体育31号館
- 034 総合体育32号館
- 035 総合体育33号館
- 036 総合体育34号館
- 037 総合体育35号館
- 038 総合体育36号館
- 039 総合体育37号館
- 040 総合体育38号館
- 041 総合体育39号館
- 042 総合体育40号館
- 043 総合体育41号館
- 044 総合体育42号館
- 045 総合体育43号館
- 046 総合体育44号館
- 047 総合体育45号館
- 048 総合体育46号館
- 049 総合体育47号館
- 050 総合体育48号館
- 051 総合体育49号館
- 052 総合体育50号館
- 053 総合体育51号館
- 054 総合体育52号館
- 055 総合体育53号館
- 056 総合体育54号館
- 057 総合体育55号館
- 058 総合体育56号館
- 059 総合体育57号館
- 060 総合体育58号館
- 061 総合体育59号館
- 062 総合体育60号館
- 063 総合体育61号館
- 064 総合体育62号館
- 065 総合体育63号館
- 066 総合体育64号館
- 067 総合体育65号館
- 068 総合体育66号館
- 069 総合体育67号館
- 070 総合体育68号館
- 071 総合体育69号館
- 072 総合体育70号館
- 073 総合体育71号館
- 074 総合体育72号館
- 075 総合体育73号館
- 076 総合体育74号館
- 077 総合体育75号館
- 078 総合体育76号館
- 079 総合体育77号館
- 080 総合体育78号館
- 081 総合体育79号館
- 082 総合体育80号館
- 083 総合体育81号館
- 084 総合体育82号館
- 085 総合体育83号館
- 086 総合体育84号館
- 087 総合体育85号館
- 088 総合体育86号館
- 089 総合体育87号館
- 090 総合体育88号館
- 091 総合体育89号館
- 092 総合体育90号館
- 093 総合体育91号館
- 094 総合体育92号館
- 095 総合体育93号館
- 096 総合体育94号館
- 097 総合体育95号館
- 098 総合体育96号館
- 099 総合体育97号館
- 100 総合体育98号館
- 101 総合体育99号館
- 102 総合体育100号館

中地区

- 001 本館棟、情報管理センター、先端科学・社会共創推進機構
- 002 総合体育1号館
- 003 総合体育2号館
- 004 総合体育3号館
- 005 総合体育4号館
- 006 総合体育5号館
- 007 総合体育6号館
- 008 総合体育7号館
- 009 総合体育8号館
- 010 総合体育9号館
- 011 総合体育10号館
- 012 総合体育11号館
- 013 総合体育12号館
- 014 総合体育13号館
- 015 総合体育14号館
- 016 総合体育15号館
- 017 総合体育16号館
- 018 総合体育17号館
- 019 総合体育18号館
- 020 総合体育19号館
- 021 総合体育20号館
- 022 総合体育21号館
- 023 総合体育22号館
- 024 総合体育23号館
- 025 総合体育24号館
- 026 総合体育25号館
- 027 総合体育26号館
- 028 総合体育27号館
- 029 総合体育28号館
- 030 総合体育29号館
- 031 総合体育30号館
- 032 総合体育31号館
- 033 総合体育32号館
- 034 総合体育33号館
- 035 総合体育34号館
- 036 総合体育35号館
- 037 総合体育36号館
- 038 総合体育37号館
- 039 総合体育38号館
- 040 総合体育39号館
- 041 総合体育40号館
- 042 総合体育41号館
- 043 総合体育42号館
- 044 総合体育43号館
- 045 総合体育44号館
- 046 総合体育45号館
- 047 総合体育46号館
- 048 総合体育47号館
- 049 総合体育48号館
- 050 総合体育49号館
- 051 総合体育50号館
- 052 総合体育51号館
- 053 総合体育52号館
- 054 総合体育53号館
- 055 総合体育54号館
- 056 総合体育55号館
- 057 総合体育56号館
- 058 総合体育57号館
- 059 総合体育58号館
- 060 総合体育59号館
- 061 総合体育60号館
- 062 総合体育61号館
- 063 総合体育62号館
- 064 総合体育63号館
- 065 総合体育64号館
- 066 総合体育65号館
- 067 総合体育66号館
- 068 総合体育67号館
- 069 総合体育68号館
- 070 総合体育69号館
- 071 総合体育70号館
- 072 総合体育71号館
- 073 総合体育72号館
- 074 総合体育73号館
- 075 総合体育74号館
- 076 総合体育75号館
- 077 総合体育76号館
- 078 総合体育77号館
- 079 総合体育78号館
- 080 総合体育79号館
- 081 総合体育80号館
- 082 総合体育81号館
- 083 総合体育82号館
- 084 総合体育83号館
- 085 総合体育84号館
- 086 総合体育85号館
- 087 総合体育86号館
- 088 総合体育87号館
- 089 総合体育88号館
- 090 総合体育89号館
- 091 総合体育90号館
- 092 総合体育91号館
- 093 総合体育92号館
- 094 総合体育93号館
- 095 総合体育94号館
- 096 総合体育95号館
- 097 総合体育96号館
- 098 総合体育97号館
- 099 総合体育98号館
- 100 総合体育99号館
- 101 総合体育100号館

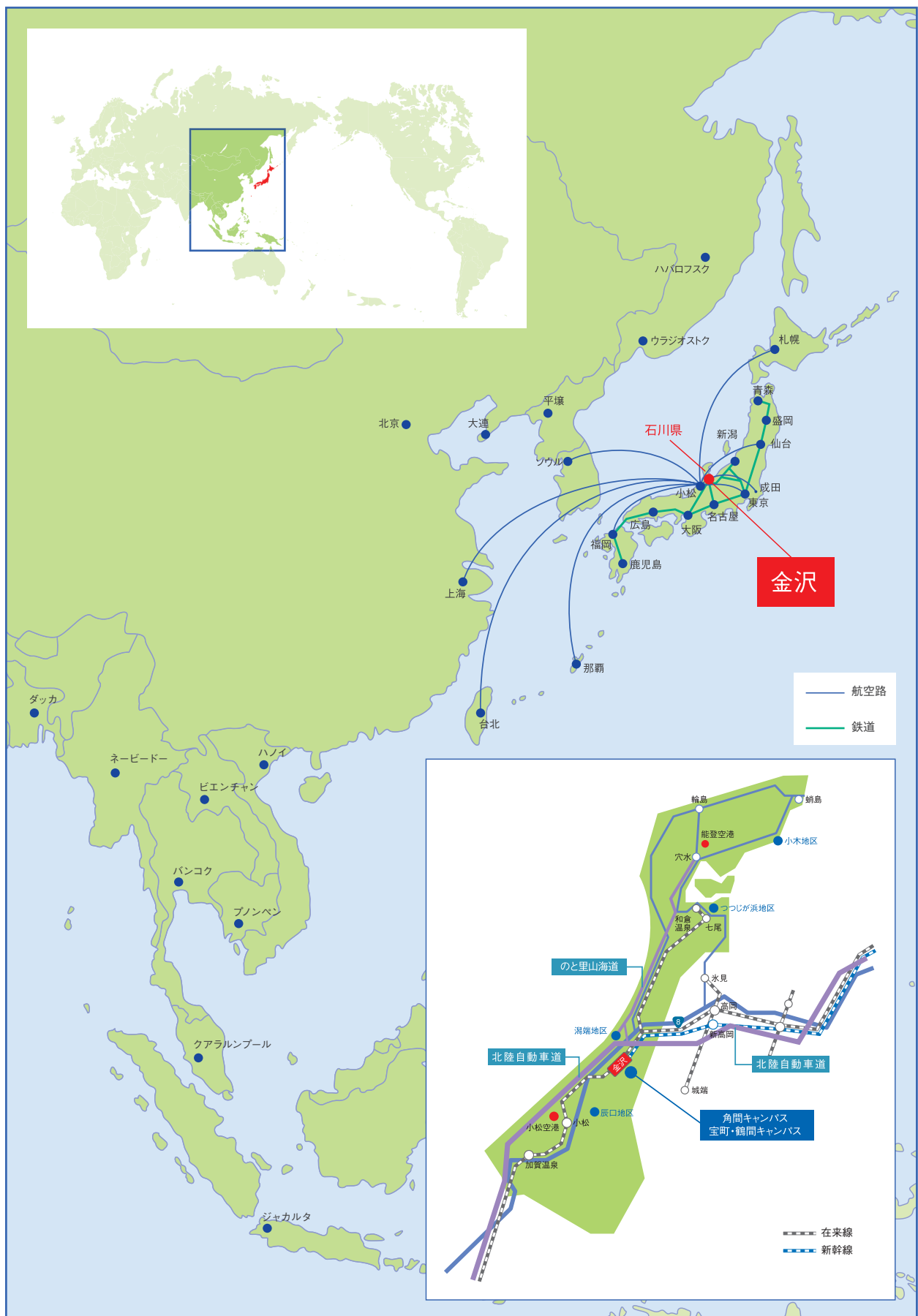
南地区

- 001 自然科学本館
- 002 自然科学系別館棟、高度利便館(食堂・売店)
- 003 自然科学1号館
- 004 自然科学2号館
- 005 自然科学3号館
- 006 自然科学4号館
- 007 自然科学5号館
- 008 自然科学6号館
- 009 自然科学7号館
- 010 自然科学8号館
- 011 自然科学9号館
- 012 自然科学10号館
- 013 自然科学11号館
- 014 自然科学12号館
- 015 自然科学13号館
- 016 自然科学14号館
- 017 自然科学15号館
- 018 自然科学16号館
- 019 自然科学17号館
- 020 自然科学18号館
- 021 自然科学19号館
- 022 自然科学20号館
- 023 自然科学21号館
- 024 自然科学22号館
- 025 自然科学23号館
- 026 自然科学24号館
- 027 自然科学25号館
- 028 自然科学26号館
- 029 自然科学27号館
- 030 自然科学28号館
- 031 自然科学29号館
- 032 自然科学30号館
- 033 自然科学31号館
- 034 自然科学32号館
- 035 自然科学33号館
- 036 自然科学34号館
- 037 自然科学35号館
- 038 自然科学36号館
- 039 自然科学37号館
- 040 自然科学38号館
- 041 自然科学39号館
- 042 自然科学40号館
- 043 自然科学41号館
- 044 自然科学42号館
- 045 自然科学43号館
- 046 自然科学44号館
- 047 自然科学45号館
- 048 自然科学46号館
- 049 自然科学47号館
- 050 自然科学48号館
- 051 自然科学49号館
- 052 自然科学50号館
- 053 自然科学51号館
- 054 自然科学52号館
- 055 自然科学53号館
- 056 自然科学54号館
- 057 自然科学55号館
- 058 自然科学56号館
- 059 自然科学57号館
- 060 自然科学58号館
- 061 自然科学59号館
- 062 自然科学60号館
- 063 自然科学61号館
- 064 自然科学62号館
- 065 自然科学63号館
- 066 自然科学64号館
- 067 自然科学65号館
- 068 自然科学66号館
- 069 自然科学67号館
- 070 自然科学68号館
- 071 自然科学69号館
- 072 自然科学70号館
- 073 自然科学71号館
- 074 自然科学72号館
- 075 自然科学73号館
- 076 自然科学74号館
- 077 自然科学75号館
- 078 自然科学76号館
- 079 自然科学77号館
- 080 自然科学78号館
- 081 自然科学79号館
- 082 自然科学80号館
- 083 自然科学81号館
- 084 自然科学82号館
- 085 自然科学83号館
- 086 自然科学84号館
- 087 自然科学85号館
- 088 自然科学86号館
- 089 自然科学87号館
- 090 自然科学88号館
- 091 自然科学89号館
- 092 自然科学90号館
- 093 自然科学91号館
- 094 自然科学92号館
- 095 自然科学93号館
- 096 自然科学94号館
- 097 自然科学95号館
- 098 自然科学96号館
- 099 自然科学97号館
- 100 自然科学98号館
- 101 自然科学99号館
- 102 自然科学100号館

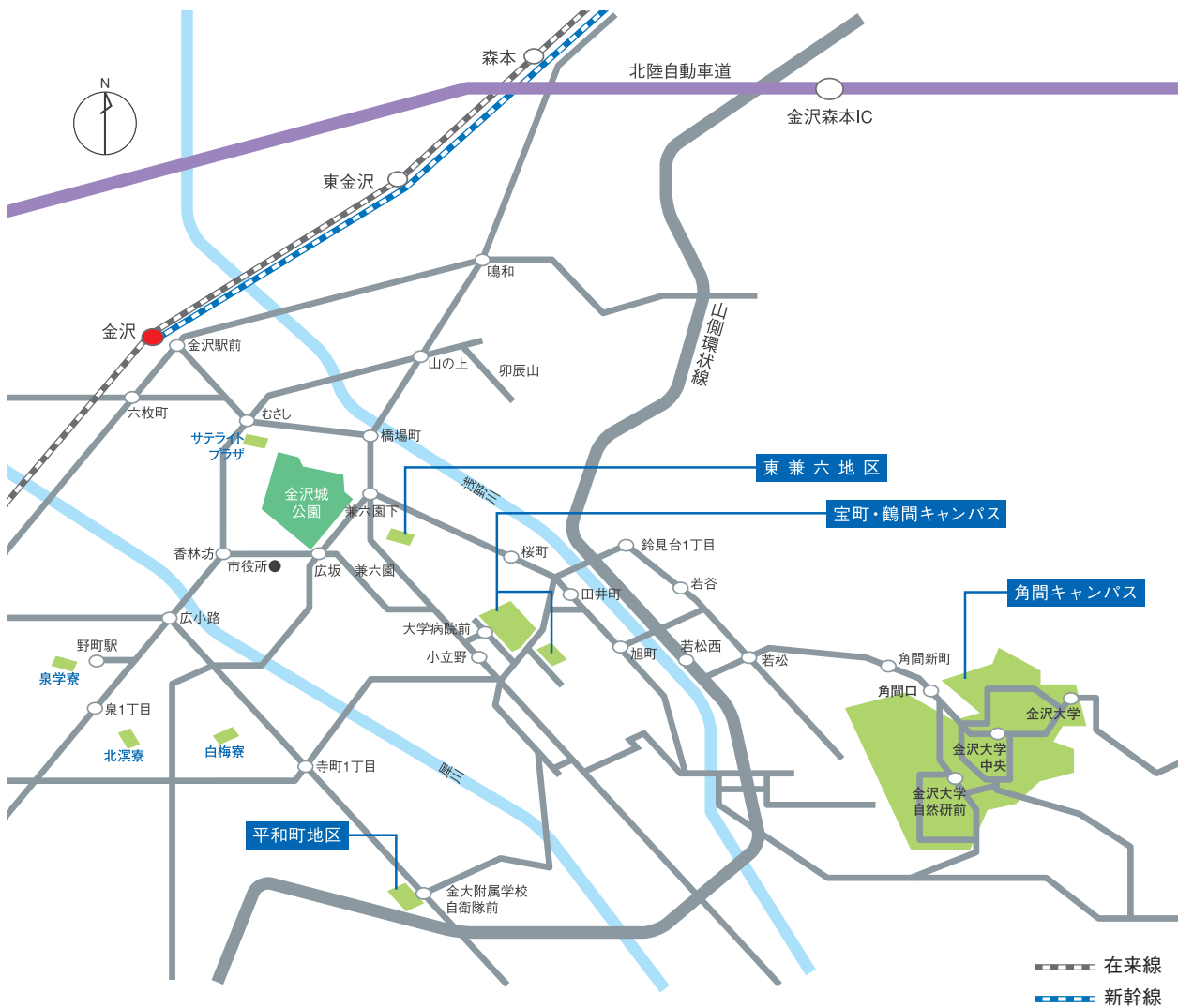


キャンパス位置図

石川県・金沢市の位置



金沢市内



東京方面から金沢へのアクセス

- 航空機利用
羽田空港→小松空港 所要約1時間
(小松空港→金沢駅は北陸鉄道バスで約1時間)
- JR利用
東京→金沢 北陸新幹線 所要約2時間30分

名古屋方面から金沢へのアクセス

- JR利用
名古屋→金沢 新幹線,特急しらさぎ 所要約2時間40分

大阪・京都方面から金沢へのアクセス

- JR利用
大阪→京都→金沢 特急サンダーバード 所要約2時間40分

金沢駅から主要キャンパスへのアクセス (北陸鉄道バス利用の場合)

- 角間キャンパス
<「金沢大学自然研前」,「金沢大学中央」,「金沢大学(角間)」>まで 所要約35分
金沢駅兼六園口(東口)⑥乗場→91|93|94|97「金沢大学(角間)」行
- 宝町・鶴間キャンパス<「こだつの小立野」バス停車>まで 所要約20分
金沢駅兼六園口(東口)⑦乗場→11「東部車庫」行など
金沢駅兼六園口(東口)⑥乗場→13「湯谷原・医王山」行など
金沢駅金沢港口(西口)⑤乗場→10「東部車庫」行など

令和4年4月

金沢大学薬学学務係

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL (076) 234-6827・6828

FAX (076) 234-6844

E-mail y-gakumu@adm.kanazawa-u.ac.jp